令和８年度　第２回港区区政会議　全体会　議事録

１　日　時　令和８年１０月２３日（金曜日）　午後７時００分～８時３０分

２　場　所　港区役所　５階会議室

３　出席者

（委　　員）対面：石井委員、上田委員、古島委員、
後藤委員、高橋委員、疊谷委員、鳥取委員、
西川委員、西田委員、西村委員、野村委員、早田委員、
平尾委員、松尾（健）委員、
村田委員、森岡委員

（市会議員）対面：西議員、藤田議員

（港区役所）対面：間嶋区長、菅原副区長、奥本総務課長、武内総合政策担当課長、
五十嵐協働まちづくり推進課長、小林総合政策担当課長代理、
村上教育担当課長、今田エリア開発推進担当課長、
宇野保健福祉課長、久井保健・子育て支援担当課長
岡添窓口サービス課長

４　議　題

（１）　大阪市港区将来ビジョン２０２７－２０３０（素案）のご説明

（２）　港区民に広げよう！～みんなで学ぶ、SDGs～

（３）　ご意見を反映した施策の紹介

（４）　その他

○小林課長代理　皆様、こんばんは。定刻となりましたので、令和８年度第２回港区区政会議全体会議を開催いたします。委員の皆様におかれましては、各部会に引き続き、全体会にもご出席いただきありがとうございます。私は本日司会を務めさせていただきます、総合政策担当課長代理の小林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。まず初めに、会議に先立ちまして、菅原副区長より開会のご挨拶を申し上げます。

○菅原副区長　皆様、こんばんは。副区長の菅原でございます。これまでの各部会の会議に加えまして、本日も全体会議にご参加いただきましてありがとうございます。間嶋区長には総括も含めまして本日の最後にお話しいただくということで、まずは私の方から開会のご挨拶をさせていただきます。日頃から港区の様々な分野でご尽力いただいている皆さん、そして今回公募委員として参加いただいている方々と直接お話しできるこの区政会議は、区政を進める上で大変貴重な場であると考えております。この全体会に先立ちまして、各部会で来年度の主要施策の方向性などをご説明させていただき、この間、福祉、地域コミュニティ、子育ての分野で、現場、地域に根ざしたご意見をたくさん伺うことができました。１つ１つの声が区政を進める上で大きなヒントになってまいります。すぐに実現が難しいものもあるわけですが、可能な限りお声を反映し、このまちをより良いものにしていきたいと、引き続き職員一同取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。本日は全体会といたしまして、前回の区政会議においてテーマとしてご意見を伺いました港区の将来ビジョンの骨子のご説明に加えまして、港区が進めるSDGsの取り組みにつきまして、皆様方と意見交換をしたいと考えております。前回の区政会議でも申し上げましたが、港区がこれからどのようなまちを目指していくのか、その方向性を一緒に考えて、より具体的で実効性のあるものにしていきたいと思っております。行政の視点だけでは見えにくい部分がたくさんございます。皆様が日々感じておられることや現場での経験を通じまして、忌憚のないご意見をお聞かせください。それでは、限られた時間ではございますが、本日も活発なご意見をどうぞよろしくお願いいたします。

○小林課長代理　菅原副区長、ありがとうございました。続いて出席状況をご報告いたします。区政会議は委員定数の２分の１以上の出席により成立すると規定されております。委員定数２４名のところ、現在１５名の委員の皆様にご出席いただい

ておりますので、本会議が有効に成立していることをご報告いたします。次に、会議運営上の注意事項をお伝えします。本日の会議は公開とします。会議の様子は動画撮影し、後日、港区役所の YouTube アカウントにて一定期間掲載いたします。また、議事録作成のため録音も行います。正確な議事録を作成するため、ご発言の際は必ずマイクをご使用くださいますようご協力をお願いします。続きまして、本日の配布資料を確認させていただきます。会議室前方のモニターに本日の資料一覧表をお出ししております。皆様のお手元の資料の右肩に資料番号を付けておりますので、不足がないかご確認ください。資料１から５、全部で５種類ございます。もし不足がございましたら、恐れ入りますが挙手にてお知らせください。また、進行の途中で不足にお気づきの場合も遠慮なくお声がけください。あわせまして、事前に送付させていただいております資料もお手元にご準備をお願いいたします。本日お忘れの方がもしおられましたら、こちらも挙手にてお知らせください。皆様ございますでしょうか。ほかございませんでしょうか。大丈夫でしょうか。では続きまして、ここで委員以外の出席者をご紹介します。区政会議の運営に関する条例において、市会議員は区政会議における議論に資するため、必要な助言をすることができると規定されております。本日は西議員、藤田議員のお２人にご出席をいただいております。

○西議員　こんばんは。

○藤田議員　こんばんは。

○小林課長代理　次に、傍聴者におかれましては、会議中は静かに傍聴いただきますようお願いいたします。それでは、ここからの進行は平尾議長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○平尾議長　はい、皆さん、こんばんは。議長の平尾です。ここからは進行を務めさせていただきます。よろしくお願いします。まず、資料１の全体会次第に従って進めていきたいと思います。本日の議題は３点でございます。まず（１）大阪市港区将来ビジョン２０２７－２０３０（素案）について、区役所より説明の後、ご意見、ご質問を伺いますので、よろしくお願いします。次に、（２）港区民に広げよう！～みんなで学ぶ、SDGs～について、区役所より説明の後、グループで意見交換を行っていただき、各グループより発表していただきます。最後に、（３）ご意

見を反映した施策の紹介について、区役所から説明があるという予定でございます。では早速ですが、（１）大阪市港区将来ビジョン２０２７－２０３０（素案）について、区役所の方から説明よろしくお願いします。

○武内課長　はい、皆さん、こんばんは。総合政策担当課長の武内と申します。どうぞよろしくお願いいたします。議題（１）大阪市港区将来ビジョン２０２７－２０３０の素案についてご説明申し上げます。今年の３月と６月に委員の皆様からいただいた港区のありたい姿、キーワード、フレーズを盛り込んだ形で整理をいたしました。既にお目通しいただいている方もいらっしゃるとは思いますが、頑張って今から１０分余りでポイントを説明します。少し駆け足になりますがご了承ください。あと、事前にお配りしております４つのポイントというペーパー、ございますでしょうか。なければ前のモニターを見てくださっても結構です。今回取りまとめております港区将来ビジョンのポイントを４つにまとめました。１番、２０３０年のありたい姿を前面にということで、現在のまちづくりビジョンにおいてもまちの将来像に触れておりますが、より明確に分かりやすい形でありたい姿として書き込み、その実現に向けて、政策テーマごとに施策の方向性を記載いたしました。ポイントの２つ目、区政会議委員の皆様と共に策定したビジョン。これはもう文字通りでございます。３番、SDGs の理念を生かしたビジョン。港区が選定した SDGs のゴール１１番、住み続けられるまちづくりを、このビジョンの理念の基本に据えて、住みたい、住み続けたい港区の実現に資する内容を盛り込みました。最後、４番は将来ビジョンと区運営方針の役割分担ということで、将来ビジョンはありたい姿とそれに向けた施策の方向性、年度ごとに策定する区運営方針においては具体的な事業を掲げるという整理を図ったところが、今回の大きなポイントと考えております。早速ですが、将来ビジョンの内容の説明に入ります。A４横向きのホッチキス止めの冊子、お持ちでしょうか。もし持ってらっしゃらなかったら挙手にてお知らせください。ございますか。こちら表紙の次、２ページに「はじめに」という項を置いております。こちらでは、港区がこの将来ビジョンをどのような思いで策定、公表するのかをまとめています。「港とともに歩む、多文化・多世代のくらしと賑わいが花開くまち」の後、本文で、１００年の歴史を歩む中で自然災害や戦災を乗り越え、大規模な区画整理事業を経て今があること、交通の要衝であり、海からの賓客を迎える港を持ち、ニシの玄関口としてこれからも発展が期待されること、一方で、ひとり暮らし世帯や外国籍住民の増加、高齢化の進展がありつつも、

こうした変化をまちの力に変え、互いを尊重しながら安心していきいきと暮らせる環境づくりを進めると述べ、顔の見える関係性や地域コミュニティの活性化を支援し、日常の暮らしと賑わいの両立を目指す考えを書いております。最後の３行に、住みたい人に選ばれ、住み続けたいと思える港区へ、新たな１００年への一歩を踏み出す今、より良い未来を示す羅針盤として、また２０３０年のありたい姿の実現に向けた道しるべとして、ここにビジョンを策定すると締めております。続いて、３ページから８ページが第１章ということで、この将来ビジョンの位置付けと狙いと題し、ここはもうスピードを上げますが、４ページに港区の１００年の歴史と概況、５ページには万博からIR、６ページには３月の区政会議でも触れました港区における人口動態と地域コミュニティ、それを受けて、７ページにこの将来ビジョンの位置付けを書き込みました。次、８ページがビジョン全体の見取り図になります。これは６月にもご紹介した４つの施策の柱ですが、実はそれぞれの柱に、１だったら繋がりと安心、２はいきいきと健やかに、３はみんなで子育て、４は賑わいのあるまちということで、委員の皆様からいただいたキーワードを全ての柱に盛り込んでおります。９ページから３０ページにわたる第２章、２０３０年の港区のありたい姿が、このビジョンの肝となる部分でございます。先ほど説明した通り、４つの分野、８つの施策に分けて、それぞれありたい姿を最初に出して、その後に現状、そしてありたい姿を実現するための施策の方向性という形でまとめております。細かい説明は省略しますが、大事なポイントと皆様からいただいたフレーズやキーワード、こちらを中心に説明いたします。１０ページをお開けいただけますでしょうか。こちら、コミュニティに関するありたい姿は、２つ目のご近所の繋がり、誰ひとり取り残さない、３つ目の元気で繋がりがあり、安心を感じられるといったフレーズをいただいたものを盛り込んでおります。施策０１が地域コミュニティですが、地活協を中心として港区において地域活動が進んでいること、一方で、高齢化や外国籍住民の増加、校区の再編による地域活動のあり方の変化の現状に触れております。飛ばしまして１２ページ、こちらでは、ありたい姿に近づくように、地活協への支援や地域交流の促進など、今後区として取り組む施策の方向性を記載いたしました。なお、先日の安心安全・まちづくり部会でいただいたご意見を踏まえ、コミュニティ活性化に繋がるイベントの内容が固定化しつつあることを課題と捉え、今後工夫を加えて実施していくというフレーズを盛り込みました。どんどんいきますね。施策０２、防災・防犯、こちらでは、港区特有のリスクはありな

がら、住民の皆様の防災意識の高さに触れ、最近の犯罪動向や交通ルールの現状をまとめました。１４ページ、こちらでは、災害時避難行動要支援者対策の推進や犯罪防止啓発など、繋がりと安心の実現に資する取り組みをまとめております。１５ページをご覧ください。誰もがいきいきと健やかに暮らせるまちのありたい姿にも、実は、ひとり暮らしでも孤立せずとか、いきいきと健やかに、顔の見える関係性、下町のおせっかいさんが増え、残り続けるまち、他にも、気にかける、繋がる、支え合うといった皆さんからご提案いただいたフレーズを取り入れました。本当にありがとうございます。１６ページの施策０１、健康では、先日の福祉部会でお示しした通り、港区においては健康寿命は伸びているものの市の平均よりは低い現状や、健診の受診率の伸び悩みが見られるという現状に触れています。その現状を受けて、１７ページでは、区民の皆さんに健康に関心を持っていただけるような事業、施策の方向性を記載するとともに、健診受診率の向上に関しては、医師会等と連携して、受診対象者の年齢や受診歴等に応じた効果的な受診勧奨、働きかけ、声かけ、を行うことを記載いたしました。この表現についても、先日の福祉部会でいただいたご意見を盛り込んだものになります。１８ページ、こちら福祉ですが、医療・福祉ニーズを取り巻く変化と社会的繋がりの弱体化、また、グラフで要支援・要介護者が増えている現状をお示しし、１９ページで地域福祉活動への参加を促すことや、地域における見守り活動の充実についてまとめております。その次が３つ目の柱、「みんなで子育て」と「多様な学び」が広がるまちでございます。こちらも、孤立を生まない見守りと支え合い、子育てに優しい、多文化共生といったキーワードをもとに、ありたい姿を３つにまとめました。２１ページをご覧ください。子育ては、子育てを取り巻く環境の変化に加え、先日のこども青少年部会でご議論いただいたこども・若者の居場所不足について触れています。次のページで5つの施策を挙げて、相談機能の充実をはじめとした事業の方向性をお示しするとともに、先日の部会での意見を踏まえ、子育てマップを含めたこどもの居場所に関する情報発信の強化について、ちょっとここはまだ表現できてないんですが、今後追加で盛り込ませていただきます。同じ柱３の中の２３ページ、２４ページに教育に関して記載がございます。今後、子どもの数が減ることが想定される中でも教育環境を維持・充実する必要性に触れつつ、多様化する教育ニーズや多文化共生に関する現状をまとめました。また、ありたい姿の実現に向けては、学校との連携支援、保護者や地域をはじめとした協働パートナーの拡充、豊かな心の育成の３つを挙げ

ております。最後、４つ目の柱、さまざまな魅力と連携を活かした賑わいのあるまち、こちらはありたい姿を、港区の３つのエリアの価値を高めつつ、一体となった持続可能なまち、また、公民連携、地域交流により活気が感じられるまちとしています。２６ページから２８ページでエリア別活性化プランによる賑わいのあるまちづくりに向け、２９ページ、３０ページで公民連携やものづくりのまち、またシティプロモーションに関して、こちらも今年３月の安心安全・まちづくり部会でご議論いただいたみなトクモンの今後の展開に触れつつ、現状や施策の方向性についてまとめました。最後、第３章はもう説明をほぼ省略しますが、もっと便利に、もっと充実した区役所をめざしてと題し、デジタル化の推進、人権尊重、セーフティネットの充実、区民意見の反映といった、区役所が施策を進める上で基礎となる事柄をまとめております。ご覧いただいたように、今年３月及び６月の区政会議の場で、委員の皆さんにご議論いただき、提案してくださった視点やキーワードを随所に盛り込んだ形で、将来ビジョンの素案を取りまとめた次第です。既にここに来るまでに、お目通しいただいて、お気づきの点ですとか、あるいは今の説明を聞いて改めて何か気になる箇所とかございましたら、ぜひご意見をお寄せください。よろしくお願いします。私からの説明は以上です。

○平尾議長　はい、ありがとうございます。それでは、ただいまの説明に関しまして、ご意見、ご感想、ご質問等ございますれば、どなたかないですか。大丈夫ですか。はい、どうぞ。ちょっと待ってください。マイク持っていきます。

○西村委員　ミスプリントかと思いますが、１０ページの③の、元気で繋がりが、つなぎになってるとこだけちょっと気になってました。

○平尾議長　ほんまですね。はい、訂正しておいてください。他何かないでしょうか。大丈夫ですか。それでは、区役所の方から何か追加で説明等ございませんか。

○武内課長　はい、ありがとうございます。これまで３月、６月、そして１０月の各部会でも色んなご意見をいただいたのを取りまとめましたが、今後、今「素案」となっているんですが、これを文字の修正とか、あるいは国勢調査の速報値が出ておりますので、そういった新しいデータに置き換えるとか、そういったことを施して「案」にします。区役所の方で、１２月の中旬から１月の中旬にかけて、意見公募、パブリックコメントと申しまして、ホームページに上げて、幅広く、また区政

会議委員以外の方からもご意見を募るという機会がございます。それを受けて、必要な修正があれば、またそれを盛り込んだ形で、最終形は２月の区政会議でお示しして決定という形になります。だから、ほぼほぼこの内容で行かしていただくんですが、もう１回幅広く意見を聞くパブリックコメントという手続きを経ることになっておりますので、その点ご承知おきいただければと思います。本当にたくさんのご意見、ご提案ありがとうございました。

○平尾議長　ありがとうございます。それでは議題（２）の方に移りたいと思います。議題の前に、区役所の皆さんは、グループに入って意見交換に加わる準備をお願いします。なお、本日の配席につきましては、区政会議委員の皆様にできるだけ色んな意見、色んな方と交換してほしいということで、部会制ではなく、ランダムに３つのグループを作ったということです。準備が整いましたら、意見交換の手順を区役所よりご説明の方お願いします。

○武内課長　皆さん、事前にお配りしておりますカラー刷りの資料、みんなで学ぶSDGsというのを手元に置いてください。また、意見交換用ワークシートという、この大きいサイズの紙も今日机の上にお配りしております。タイトルは港区民に広げよう！～みんなで学ぶ、SDGs～ということなので、私どもも一緒に今日学んでいきたいと思っております。よろしくお願いします。ちゃんと１０分で話すように頑張るんですが、本日は１０分間でSDGsの基本ですとか、大阪市や港区での取り組み、また日々の生活との繋がりを感じていただけるように、できるだけ分かりやすく説明をいたします。で、早速ですが、皆さん、SDGsという言葉は聞いたことありますでしょうか。この表はご覧になったことあります？モニターに映している１７の目標というのは、何となくどっかで見たなというぐらいはあるのかもしれませんが、SDGsとは何やねんと、いうことですが、サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ、持続可能な開発目標ということで、国連が定めた２０３０年までに達成を目指す国際的な１７の目標で、貧困とか環境問題など世界共通の課題を誰一人取り残さない姿勢で解決しようとする枠組みでございます。ここでのポイントは、困ってる人を後から支援するのではなくて、最初から取り残されない仕組みをつくるという考え方です。前のイラストをご覧いただいたら分かるかなと思うんですが、段差があると通れない人も、最初からスロープがあったら通れます。こういう発想がSDGsの中心にあります。SDGsというのは、２０３０年に達成したい世

界共通のありたい姿、何かどっかで聞きましたが、ありたい姿をまとめたものと言い換えることもできます。貧困をなくそう、飢餓をゼロに、すべての人に健康と福祉を、こういった大事なことを１７の目標として掲げています。また、こういった２０３０年のありたい姿を実現していくための物差しとしても使われています。じゃあ物差しとは一体どういうことか、ですが、このスライドはお手元にはないやつだと思うんで、ちょっと前に注目していただけますでしょうか。具体的に説明しますと、地域で行われている防災訓練というのは、災害に強い地域づくりとか、住民が安全に暮らし続けられるまちをつくる取り組みなので、一番左、黄色の１１番住み続けられるまちづくりをというゴールと関係があります。また、温暖化による巨大化する台風ですとか、頻発するゲリラ豪雨など、気候変動で災害リスクが高まる中、その具体的な対策として訓練を行っているとも言えるので、真ん中の緑、１３番気候変動に具体的な対策をというゴールとも結び付きます。さらに、そういった防災訓練を地域や学校などが協力して実施していることを捉えて、１７番パートナーシップで目標を達成しようにも貢献すると言えます。このように、具体的な取り組みや行動がこの先、２０３０年の世界のありたい姿にどう結び付くかを説明する時の物差しとして使われることが多いです。同じように、もう1枚スライドを、前を見てもらってよろしいでしょうか。各地域でお年寄りの見守り活動を行うということは、3番すべての人に健康と福祉を、１１番住み続けられるまちづくりを、１７番パートナーシップで目標を達成しようという、SDGs のそれぞれのゴールと結び付きが強いと言えます。改めて SDGs の１７あるゴールを見渡した時に、皆さんご自身が個人的に、大事やと思う、あるいは気になるものがありますか。これは後から意見交換の時に選んでいただきます。ここからが大阪市とか港区の話に入っていきます。大阪市では SDGs にどのように取り組んでいるかと申しますと、広く市民や企業が SDGs を理解し、わがこととして日常の暮らしの中で実践している状態を目指す区民わがこと SDGs を推進しています。聞いたことあるかどうかはちょっと微妙ですが、推進しています。具体的には、２４の区がそれぞれの区ごとの特性や実情と親和性の高い SDGs ゴールを焦点にして普及啓発に取り組んでいるというものでございます。港区においては、外国籍住民が増えつつある中、互いの個性を大切にし、認め合い、一人一人が輝くことのできる多文化・多様性の理解促進を進めていることから、１１番「住み続けられるまちづくりを」を港区の実情に応じたゴールとして選んでおります。もうちょっと説明を続けます。この区政会議で議論

している新たな将来ビジョンも、SDGs と同じく２０３０年をターゲットとしていること、また、ビジョンに掲げる４つの柱、８つの施策分野でありたい姿を描いてますが、実はあらゆる施策に SDGs の１１番住み続けられるまちづくりを、の理念を取り入れております。この SDGs ですとか新たに策定する港区の将来ビジョンを、今後より多くの区民の方にどのように伝え、広げていくかは大きな課題と考えており、このテーマに関しても後ほどグループでご意見をいただく予定にしております。ところで、住み続けられる港区はどういう状態でしょうか。何を指すのか人によって違うことも考えられますが、ここでは少し掘り下げて、４つの観点で考えてみたいと思います。安心、繋がり、支え合い、活気、この４つを挙げました。どれか１つだけ強くても、バランスが崩れると住みにくくなってしまいます。例えば、安全でも繋がりがなく孤立していたら不安になりますし、例え賑やかでも支え合いがなければ続きません。いずれも、住み続けたいというのは、お住まいの皆さんの日々の生活に根ざしているものであり、住み続けられるまちの実現は当然行政だけでは難しいということが分かります。港区が掲げる１１番、住み続けられるまちづくりをに関連して、私たちが今日からできる行動、わがこと SDGs を３つのテーマに分けて簡単に見てみようかなと思いまして、１つ目、ご近所付き合いの中で挨拶とか、できる範囲での見守り、また、例え年に一度でも地域や公園の清掃に参加する、こんなことも住み続けられるまちづくりをに繋がるのかなとか。２つ目、外国籍住民が増える中で、多文化・多様性がより大切になっていますが、例えばやさしい日本語を使う、困っている人への声かけとか。３つ目、住み続けるためには安全・安心の備えが必要ですけども、いざという時に備えて持ち出し袋を用意するとか、防災訓練に参加するといった行動が、港区が掲げる住み続けられるまちづくりをに繋がるものと考えます。ここでポイントは左から右なんです、これ実は。住み続けられるまちづくりをやるために色んなことをするんじゃなくて、日頃の行動が２０３０年のありたい姿に繋がってるという、実は SDGs の考え方は左から右ということになります。別に右から左もありっちゃありですが、本来的な考え方は、日頃の色んな行動が２０３０年の世界のありたい姿の実現に繋がっている、１７のゴールがあるということを頭の片隅に置いていただければ嬉しく思います。もうまとめに入ります。３点に整理しました。これも明日、家帰ってでも会社でも言えますんで。SDGs というのは２０３０年の世界のありたい姿を１７のゴールにまとめたもので、合言葉は誰一人取り残さない。大阪市では２４区それぞれに区民わがこ

とSDGsを設定しており、３つ目、港区が選んだゴールは１１番住み続けられるまちづくりをになっていると。ということなので、SDGsという言葉を聞いたり見たりした時に、ちょっと思い出していただければと思います。では、ここからのグループワークの進め方を最後にご説明申し上げます。今日は、委員さん同士の交流を深めるために、部会ごとではなくランダムに座っていただいております。そのために、まず（１）、順番にだいたい５人から６名いらっしゃると思うんですが、一人ずつ、お名前といつもの部会と、私このゴールが気になるわということを、もう一言ずつで結構なので、自己紹介を兼ねて一巡してください。その後、（２）住み続けられるまちづくりをに繋がる、貢献する活動とは何だろうとか、３つ目、SDGsとか港区が目標に定めている１１番住み続けられるまちづくりを、を区民に広げるにはどんなことしたらいいんやろうかというようなことを、グループで話し合っていただければと思います。（２）と（３）は後ほど代表の方に発表していただきます。もう（３）は難しかったらいいです。できたらやってほしいです。（２）と（３）の発表をお願いいたします。今から一旦２０分間、７時５５分をめどに、またその時の皆さんの状況を見てお声がけをさせていただきます。何かご質問とかは、いけそうですか。まずは自己紹介からお願いします。

～グループワーク（約２０分間）～

○平尾議長　各グループ大丈夫でしょうか。今日は西川さんがいないので、不安でいっぱいです。それでは皆さん、各グループでの意見の発表をお願いしたいと思います。それではAグループ、鳥取さん、よろしくお願いします。

○鳥取委員　はい、失礼します。Aグループとしては、（１）のあなたが大事だと思う、気になるSDGsのゴールはということで、７とか１２とか１６とか１４とか１３とか出たんですが、１つおっしゃっておられたのが、１２のところの、つくる責任、つかう責任が、昨今AIによって縛られてきていて、AIがまき散らし、AIが救うみたいなところはどうなんかな、これ使っていく上でどうなのかなという話がありました。１３番のところで気候変動、つい２、３日前まで、めちゃくちゃ暑い夏があって、これからまだ台風が来て寒くなっていくんかなという周期もちょっと変な感じを感じるというお話。（２）の住み続けられるまちづくりに貢献する活動というところではちょっと違うんですが、昨今、港区も落書きが結構見受けられて、それが治安の悪さに導かないかなというところで問題なんじゃないかという中

で、区役所の方から出てきたのは、他区の話ですが、それを綺麗にする、なくす運動をされている。また別の区では、その落書きも同じするなら、もうキャンバスはそれで、芸術作品で絵を描くという話があったり。私は個人的にテレビで見た、北加賀屋の大阪のブルックリンですか、芸術家を古民家に呼んで、そういうまちづくりをしていると。最後、（３）SDGs の理念や住み続けられるまちづくりを広げるには、広げるにはというのは何かの広報活動かなというのがあると、手前みそになるんですが、うちの三先で今取り組んでいるのが、色んな行事があっても人が来ない、来ないと広がらないんじゃないかということで、前回の１月の役員会でちょっと話したのが、今、三先に有権者として３，６００人ぐらいいてるので、ここの全員が入ってきても、なおかつ色んなことを載せていけるというのに、LINE のオープンチャットを使ってはどうやってということで、色んな行事もマンネリ化して、あれはあかん、これはあかんいう話もあるから、そこで映像を載っけるだとか、また意見を集約する作業をちょっと取り込もうかというところの話を披露させていただいて、それもありかなというようなお話が返ってきたというのが A グループですが、他何か抜けてるのは、このままでよろしいですか。はい、ありがとうございます。以上でございます。

○平尾議長　鳥取委員、ありがとうございます。B グループです。B グループは、まず、SDGs についてですが、こんな当たり前のことやんけ、いちいち目標を立ててするもんじゃないし、人間としてどうやねんと、こんなんせなあかんのはというところから始まりまして、やはりその地域の繋がりが希薄になっているのが問題じゃないかと。特に町内会の加入率が悪かったりとか、一人暮らし世帯が多かったりとか。だから国勢調査１つ集めるんでもちょっと大変になってると。とにかく、地域というよりも、お年寄りにしっかり繋がりを持ち続けてほしいということです。色んな意見が出ました。例えば、港区特有のモーニング文化、喫茶店に行ってモーニングを食べると、その後に懐かしの阪神戦を流したらどうやとか、カラオケやってもうたらどうやとか。前の区長が、スナックやって老人の生存確認すんねんみたいなこと、よく言うてましたが、夜されるのも良心的かもしれないですが、やはり朝やってもうた方が、朝しっかりご飯を食べてもうて、その日の活動してもらう方が健康的にはいいんで、そんなんもしてほしいなと。それから、老人同士の、老人というよりもベテランの方々の繋がりがやはりなくなっていくのは寂しいと。色んな分野でベテランの方々のものづくりがなくなっていってる現状もあるんで、そん

なんをどうにか若い世代に繋げられるような工夫はないんかと。ちょっとここはこの辺で話が途切れてしまったんですが、高齢者というか、ベテランの方々で、例えば昔すごい着道楽やったけれども、わしこんな服着いひんねんというやつを、メルカリに出すんじゃなしに、蚤の市みたいな形で、若い子に譲るとか。僕、釣りをするんですが、高齢の方でリタイアした人が釣り道具を持ってるんです。あんなもん、高いんで、下の世代に回してもらえればいちいち買わんでもいいと思ったり、何かそういうのをイベントにして、それだけ単独でイベントするの大変でしょうから、港区民まつりのワンコーナーとか、そんなのを考えてもらえればなと思います。こんな感じでいいですか。何か本当にとりとめのない話になりました。よろしくお願いします。

○西村委員　はい、C グループです。色々意見出まして、まず１つ目の、あなたが大事だと思う、気になる SDGs のゴールはというところで、貧困をなくそうとか、人や国の不平等をなくそう、気候変動に具体的な対策を、気候変動が起きるから戦争が起きるんじゃないかなというご意見もいただいたり、あと働きがいも経済成長もというところで、金ないと何もできへんなというようなところも、やはりあったりというところの意見が出ました。２つ目の住み続けられるまちづくりをというところですが、やはりこちらでも町会活動を活発にして、住民の繋がりを強めていくのはすごい大事じゃないのと、知らない人をなくすというところが大事かなというところとか。あと面白い意見が出たんですけど、小学校や中学校の統廃合がありますよね。今までは校区外だったのに、学校が統合するんで校区外が校区内になりますが、それをみんな見守りできんの？という意見が出てきました。学校の統合のおかげで住みにくいまちになるという子育て世代の意見もやはり出てくるんじゃないかなというお話も出てきているので、ここも知らない人をなくしていく。区民まつりだとか行事ごとがやはりあって、私も八幡屋の区民まつりで、町会で豚のホルモンをひたすら解凍するということをやっていたんですが、ホルモン焼きが人気だったんです。でもそこに子どもが来てて、大人も来てて、外国の人も来ててというのを見た時に、あ、このまちは大丈夫やなとちょっと思ったんです。ですので、やはりそういうイベントごととか行事ごとというのを絶やさないということとか、あと、こども１１０番の家もまだまだ周知できてないなみたいな話も出てきて。交番も池島にはなくなっちゃったんで、やはり子どもを見守ることをみんなでできればいいよなみたいな話があったり、不審な人がおったら大人がやはり気づくべきだよ

ね、みたいな話がちょっと出てきたりして。どっちかというと、その住み続けられるまちづくりをというところの中で、小学校、子ども、中学校、子どもというところの話がやはり出てきたので、そこにちょっと力を入れていかなきゃいけないのかなという意見がありました。最後の、SDGs の理念、これを広めるにはというところですが、やはり周知されてないよねとかで、みんなこの１７個知ってるという話とかで。これルールやから絶対やっていこうよとなっても、それはみんな縛られてしまって嫌だから、もっと分かりやすく、普通に当たり前のこととして広げていく何かが必要なんじゃないかなというふうな意見も出ましたという感じでございます。以上です。

○平尾議長　はい、西村委員、ありがとうございます。それでは、区役所の方からコメントをお願いします。

○武内課長　はい、皆さん、たくさんの意見ありがとうございます。今日は１つのきっかけです。SDGs とは何というのに、SDGs というのはこんなんやでというのを少しでも身近に感じていただければ、まずはそれでよかったのかなと思ってます。で、区役所は何をやってんねんということですが、ちょっとだけ紹介します。８月に間嶋区長がラジオ大阪の番組、「あれもこれも SDGs」というのがあって、そこで１５分しゃべってみたり。広報紙の７月号、後でも出てきますが、住み続けたいまちということで、区民の皆さんに、港区はこんなええとこなんやでというのを生の言葉で語っていただいて、写真とともに紹介している記事とか、ここでも右下に、港区は１１番を目標にしてますということを書いてたり、もう１つ、港区民まつりブースでの PR ということで、みなトクモンの PR とともに、港区は SDGs １１番を区民わがこと SDGs にしてますということを説明しながら、うちわをお渡ししたりとか。もう１個面白いのは、面白いと自分で言ったらだめなのですが、おみくじ、１番から１７番の番号が入っているおみくじ、SDGs おみくじということで、今回は１番が出たことにしておきます。貧困をなくそうということで、ポケットティッシュに吉とか大吉とか、１番というのはこういうことなんやで、というのを書いて、参加者にお渡ししたりとか、少しでも SDGs を身近に感じてもらう、知ってもらうという取り組みを今一生懸命やっています。おみくじは、帰りに体験したい方、ぜひやってください。うちわもお一人１つは用意してますんで、ぜひ持って帰ってください。という形で、これからも港区としては、さっきも言ったよう

に、この目標のために何かをするということじゃなくて、日頃のちょっといいことが地球の、世界のいいこと、ありたい姿に繋がるということで、SDGs を意識していただければありがたいという啓発に努めてまいります。ありがとうございます。

○平尾議長　ありがとうございました。それでは、続きまして、議題（３）ですね、ご意見を反映した施策の紹介について、区役所の方から説明お願いします。

○武内課長　三度め、総合政策担当の武内で失礼します。ご意見を反映した施策の事例ということで、事前に資料をお配りしておりますが、ない方は前を見ていただいたらと思います。区役所では、区民から寄せられる声ですとか、区政会議でのご意見、ご提案を踏まえて、施策の見直しや改善、新たな取り組みを進めています。今日は２件ご紹介します。６月の区政会議、安心安全・まちづくり部会で、外国籍住民の中には、ごみをどうやって捨てたらええか分からない人がおると、ごみの捨て方について街中の掲示板に載せてほしいというご意見をいただきました。当日、私から、ごみのマナーABC という冊子があって、複数の外国語で発行してますよ、それはホームページでもご覧いただけますよということを説明しました。ただ、ご提案あった通り、街中の掲示板では貼ってないなということで、お手製の簡単なポスターを作って貼りますと答えました。実際、写真の通り、７月の下旬から区内の約５０か所の掲示板に、ごみのマナーABC に繋がる二次元コードを載せた多言語版のポスターを作って貼りましたという事例が１つでございます。もう１件、こちら３月の全体会でいただいた港区の魅力はというもので、これもその全体会の当日に私の方から、港区の魅力を住むまちと訪れるまちに分けてお答えして、４月号の広報紙で春の弁天町を歩こうという記事を掲載したり、５月号からは港区ならではの製品や商品、それらを支える人の魅力を紹介するコラム「＃キラリみなと」の連載を開始し、１０月号まで６号連続でみなトクモンの認定商品も紹介してまいりました。これとは別に、住むまちとしての魅力をアピールするために、広報みなとの７月号、先ほどもちょっとちらっとお見せしましたが、見開きで、大阪・みなと暮らし～住みたいまち・住み続けたいまち～をテーマに、お住まいの方自ら、住むまちとしての港区の魅力を語っていただく、今までにない記事を掲載いたしました。これは皆さんお読みいただけてましたでしょうか。区政会議委員の方にも登場いただいていたりするんです。実は私は区政会議だけじゃなくて広報を担当してるんで、また率直なご感想とかお聞かせいただけると嬉しく思います。今日は

２件ご紹介しましたが、委員の皆さんから頂戴したご意見、ご提案に関しては、可能なことから実現に向けて取り組んでいきます。先日までの３つの部会でも、区民まつり、健診受診率の向上、子どもの居場所に関して、様々なアイデアを頂戴しました。ありがとうございました。行政が仕事を前に進める上で、様々なルールとか予算の制約とか、関係機関との調整の結果、どうしても実現に至らないこともあるんですが、今回ご紹介した案件のように、港区を住みよいまちにするために取り組んでまいりますので、ぜひ皆さん、建設的なご提案をお寄せいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

○平尾議長　ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、何かご意見、ご感想、ご質問ございますれば。大丈夫ですか。広報みなと読んだぞという。大丈夫ですか。ありがとうございます。本日は、市会議員の先生にもご出席していただいております。お一言ずつお願いしたいと思います。あいうえお順で西先生から。

○西議員　どうも皆さん、こんばんは。大変熱心な議論、また討論につきまして拝聴させていただきまして、皆様のご検討、ご配慮ぶりといいますか、本当に頭が下がる思いでいっぱいでございます。令和８年度の区政会議、全体会は２回目ということでございますが、今日はちょっと比較的大きなテーマといいますか、SDGsということで、私もこのSDGsのバッジをつけて、つけてるだけみたいなとこもあるんですが、１７を１番目から言うてみ言われたらというような感じですが、非常に、どれ１つとっても、自分一人の力では到底できないと。また、持続可能なというところが付け加えてあるのがちょっとミソかなと思ったりしまして。その時々だけうまくいけばいいということじゃなくて、そのままうまくいき続けなければいけないと言いますか、そういうところも非常に、ある意味では目標が、ハードルが高いなということでありますが、そういった意味では世界をまたにかけてということもあるのかもしれませんが、まずは我が地域からと、こういう思いで、今、港区役所さんが１１番目のこの住み続けられるということが、やはり一番大事なのかなと。住み続けられるということは、安心してここにおられるということでありますし、またそれが続いていくということは、その次の世代にも繋がっていくということでありますので、そうしたより良い環境と、住環境、特にそういったことも含めて、空気であるとか水であるとか、色んなものが持続可能になっていく、していく、それは日々の我々一人一人の心がけと言いますか、努力の成果かなとも思って

いる次第でございます。大きな生意気なことで申し訳ないんですが、私もその一員として、皆さんと共にまた働いてまいりたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。本日は大変ありがとうございます。

○藤田議員　皆さんお疲れ様でございました。本当に今日のテーマ、この間ずっとやってますが、この町会とか繋がりのテーマめちゃくちゃ難しいなというふうに思っています。先に、区政会議の、全体の感想だけ言っておくと、皆さん結構笑顔でしゃべってらっしゃるのが印象的でして。我々も１０年以上この区政会議を見守ってきましたが、最初の頃は委員さんが５０人ぐらいいて、区役所が５５分ぐらい説明して、あと5分で何か意見ありませんかみたいなので終わるという、みんな難しい顔をして、ああ疲れたと帰る会議やったんですが、これは本当に武内課長の成果だなというふうに、本当にありがとうございます。委員の方が笑顔でしゃべってらっしゃるの、すごく嬉しかったです。ちょっと話戻すんですが、本当に繋がりというの、僕ら議会でもすごく議論するんですが、非常に難しくて、ちょっと皆さんの話聞きながら思ってたのが、やはりその繋がりが緊急的に絶対必要な方、重要な方というところを、まずしっかり手当てしていかないといけないなというふうに思いながら、考えながら聞いてました。具体的には、例えば出産した直後の妊婦さんとか、結構自殺率高いんです。ずっと夜泣きされて、睡眠時間も取れなくて、家に一人で赤ちゃんといる、しゃべり相手がいないというところ。それから、今日もありましたが、中学生、高校生ぐらいで家庭の中に居場所がないという、こういう子たちも非常にリスクにさらされていると思います。それから最後、高齢者でお一人になられた方、このあたりの繋がりをやはりそれぞれしっかり繋いでいかないといけないなというのが、まず優先順位トップで、その後のみんな、できたら繋がれた方がいいよねみたいなやつとは、ちょっと政策の優先度が変わってもいいのかなというふうには思っていました。今、やはり時代的にも繋がることに対して抵抗感のある人も結構増えてますので、それをけしからんとか、そんなんじゃあかんとかじゃなくて、まずやはりしっかり繋げなあかん人を繋げていくために何ができるのかというのは、ぜひ、色んな方からご意見いただきたいなというふうに思います。私も子ども２人いてまして、本当に出産直後の妻の不安定さみたいなのは身に染みて感じてますが、一方でお一人になられた高齢者の、どういう状況なんやろというのは、あまりイメージがちゃんと具体的にできてない部分とかもありますので、そういう意味で、色んな背景を持っている方がこの区政に参加していただいているとい

うのは、すごくいいことだなというふうに思ってますので、もしかしたら、その仕組みというよりは、このイベントだったらこういう人たち来てくれるよねとか、何かそういう単発、単発のことでもいいのかなというふうに思ったりも。いきなりフルパッケージで町会入りましょうというと、結構皆さん敷居が高いので、入りやすいステップからやっていってもいいのかなというふうに思いながら聞いていました。本当にいい会議だなというふうに思って、頼もしい限りです。今日もありがとうございました。以上です。

○平尾議長　西先生、藤田先生、ありがとうございました。本日の議事はこれで終了させていただきます。委員の皆様の活発なご意見交換に感謝申し上げます。それでは、区役所に進行をお返しいたします。

○小林課長代理　平尾議長、議事進行ありがとうございました。委員の皆様もご協力いただきまして、ありがとうございます。それでは最後、間嶋区長より総括及びご挨拶を申し上げます。

○間嶋区長　皆さん、こんばんは。本当にお疲れ様でした。もうしばらくお付き合いいただきますよう、よろしくお願いいたします。本日の区政会議で、将来ビジョンの方をご説明させていただきました。将来ビジョンを今日ご説明するにあたりましてというか、その前提として素案を策定するにあたりまして、我々心がけてきたことがあります。それは何かと言いますと、皆さんが３月、６月に、この区政会議のために色々キャッチフレーズとかコンセプトを考えていただいてたんですが、それは必ず生かそうというふうなことは、区の共通認識として持っています。そういったこともありまして、今日お示しさせていただいている資料の中で、黄色のラインで具体にお示しさせていただいたんですが、これが区政会議委員の皆様方の意見を踏まえて作ってるんだというふうなことを、これもはっきりさせておきたいというふうなことで、あえてこういうふうなラインをつけさせていただいております。これが皆様方のご意見を反映してますよというふうなことです。もう１つ、説明をしてなかったんですが、こちらの４つのポイントの資料の次のページのところですが、今のビジョンと今度のビジョンが、皆様方の意見を踏まえて、どういうふうに変わったのかというふうな大きなポイントだけを示させていただきました。当然、今のビジョンから今回のビジョンに変わるにあたりまして、今のビジョンの文字としてはなくなった部分もあるんですが、これは事業をやめたということではなく

て、ルーチンに変わってるというふうなことも含めて、そういうふうな変化もしているとご認識いただければというふうに思います。それと３つ目ですが、先日の部会で皆様方からアイデアを出していただきました。アイデアそのものにつきましては、このビジョンに直接というふうなことではないんですけども、いただいたキーワードの中で、これはこの将来ビジョンに当然活用できるというふうなものにつきましては、盛り込ませていただいてます。先日のこども青少年部会は、ちょっと日程が間に合わなかったんで入れ込んでないんですが、次に将来ビジョンをお示しする時には、必ずこれを盛り込ませていただきます。具体的なアイデアにつきましては、これに基づいて毎年運営方針というのを策定してるんですが、いわゆるアクションプラン的なものですが、そこでブレイクダウンさせていただくことになろうかというふうに思います。本日、２人の市会議員の方にご参加いただいております。日常的に議員とも会話をするんですが、この中で、将来ビジョンの、もう口頭で言いますが、３０ページのところで広報のことを触れさせていただいているんですが、伝えるだけではなくて、区民に伝わる広報への転換というふうなことがあります。これは議員さんとの会話の中で、広報みなとですが、せっかく特集記事書いてくれてんねんやったら、それをもうちょっと生かせるような構成にできへんかというふうなご意見をいただいてます。契約の関係がありますので、来年の４月までは変えることはできないんですが、そのことはきっちり意識して、来年の５月号から、そういうレイアウトもちょっと工夫して、伝えるんじゃなくて伝わるようにというふうに意識しております。もう１つは、１４ページのところで、防災のところですが、その中で、大規模地震（南海トラフ巨大地震）や地球温暖化に伴う激甚化する風水害に対する初期初動対応等の発信を強化しますというふうに謳っております。これは、私、危機管理室の経験がありまして、区民の方から、ニーズあんねんと、１回講演してくれへんか、というふうなご意見をいただいてます。私も色々考えまして、講演というやり方もいいんですが、できるだけ不特定多数の人に、こういった危機管理というかを発信していきたいというふうなことがありまして。もう１つは、私自身、各地域の訓練とか防災学習会にも参加させていただいているんですが、各地域の取り組みでかなり進んでます。その中で区長としてどういう発信をするのがいいのかなというふうなことで、やはり大規模地震が起こった時の初期初動について発信させていただこうかというふうなことで、間もなくYouTubeでそれを発信させていただきます。そうなってくると、講演よりはインパクト弱いかも

しれませんが、不特定多数の区民の方に伝えられるというふうな、そういった工夫もしながらというふうに思っております。ビジョンで書くとこういう書き方になるんですが、今申し上げた施策に落とすと、例えば運営方針の中で具体的に落としていくと、そんなふうになってまいります。今日ご説明させていただいて、すぐになかなか意見を返すというようなことが難しかったかもしれませんが、２８日ぐらいまでに、もしこれに対して、例えば意見とか追加意見とか、そういうのがございましたら、またお伝えいただければというふうに思っているところでございます。また、SDGs につきましても、ご議論いただきましてありがとうございます。区民の方々が参加する区政会議として、できるだけ我々も努力してまいりますので、今後ともまたよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

○小林課長代理　間嶋区長、ありがとうございました。以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。それでは皆様、どうぞお気をつけてお帰りください。名札につきましては、お出口のところで事務局の方へご返却いただければと思います。